

地域に愛されて、50周年!



青南だより

平成30年2月号

港区立青南幼稚園
園長 新山 裕之

<東京の大雪に思う>

1月15日は、青南幼稚園は振替休業日でしたが、翌朝は教職員の出勤に心配があり、一時間登園を遅らせる措置を取らせていただきました。幸い先生たちはいつもより早く出勤して、すぐに雪かきを始めました。私が育った長野では、自分の家の前から隣家の前まで雪かきをすることで、ご近所の皆さんが安全に歩ける道を確保することを当たり前にしていました。しかし、東京ではマンション住まいの方が多く、雪かきも管理人や行政任せになっているとすると、ちょっぴり寂しい気がします。

<生まれて初めての幼稚園での雪遊び>

生まれて初めての本格的な幼稚園での雪遊びだった子も多かったことでしょう。めったにない大雪に大喜びの子どもたちに負けない勢いで、私自身も遊んでいました。裏庭から大きなかごに「トラックです!」と言いながらたくさんの雪を運び、みんなの力で子どもが二人は入れるくらい大きなかまくらができました。この日は、担任も私も、大きなかまくらを作りたい!どんな素材だと一番滑りやすいのか?と、いつにも増して本気になって遊びに向かっていました。ときには、そんな大人の真剣に遊ぶ姿が子どもたちの遊びを深める指導方法となることもあるのです。

<小学校生活に期待が高まります>

5歳児は、青南小学校で体験給食や体験授業などの交流が続きます。5年生との交流では、手作りの遊びやランドセル体験などを楽しみ、給食の準備もしてもらって一緒においしいカレーライスをいただきました。いろいろ教えてくれるお兄さんお姉さんの優しい対応に、みんないい笑顔でした。顔見知りの先輩がいることで、4月から安心して小学校に通えそうです。

改めて、年度初めにお渡しした『みなときっずなび』を親子で見直して、生活の基本を再確認していきましょう。



みんなの安全のために職員総出で雪かき



園庭がすてきなスキー場に変身!



5年生と一緒においしいカレーをいただきました



家のどこかに貼って、親子で再確認してみましょう

・・・如月(きさらぎ)・・・

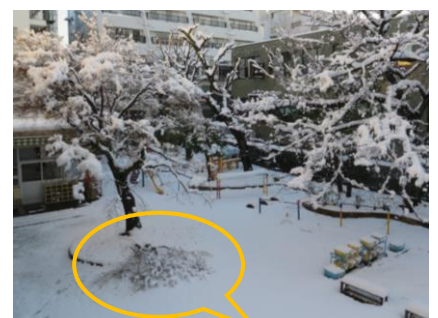
青南の
二十四節気

立春(4日) …よもぎが柔らかい芽を出し始めます…

雨水(19日) …ハクモクレンの蕾がふくらんできます…

1月15日、4年ぶりの大雪が降りました。シンボルツリーのかえでの木にも雪が降り積もり、その重みに耐え切れず、正面の太い枝が折れてしまいました。開園前からこの地に根を張り続けている大事な木ですから、折れた枝も何か思い出に残る形で残せたらと考えています。

節分に向けて各学年でいろいろなお面作りを始めています。豆をまいて鬼を追ひ払うと、立春を迎えます。寒さの中にも少しずつ春の足音を感じながら、1年間のまとめをする時期となります。



大雪には耐えられず、かえでの枝が…